

第3回検討委員会までの議論の概要

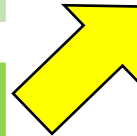
第1回検討委員会の結果（概要）

- 奈良公園の玄関口に相応しく観光を通じた経済活性化に資する施設が望ましい。
- ホテルが良いのではないかという意見が多い一方で、他の施設も含めて議論したいとの意見をいただいた。
- 第1回検討委員会でコメントのあった施設
 - ・ ホテル
 - ・ 商業施設
 - ・ インキュベーション施設
 - ・ コンベンション施設
- 観光等に関するデータを示してほしい。

第2回検討委員会の結果（概要）

<第1回の結果を踏まえ、観光等に関するデータを提示し、活用目的の候補として考えられる施設を検討>

- 宿泊を伴う周遊・滞在型観光を促進するため、上質なホテルが望ましい。
- 「上質なホテル」、「奈良公園の玄関口に相応しい」の内容について、他府県の事例を踏まえて検討が必要



各委員への意見照会

<第2回の結果を踏まえ、事前に「上質なホテルを具体化するものとして、どのようなものがよいか」各委員に意見照会>
(主な意見を抜粋、統合して記載)

- 「上質なホテル」について
 - ・ 知的好奇心等を高める等の付加価値のあるホテル
 - ・ 長期滞在につながるホテル
 - ・ 質の高いおもてなしができるホテル
 - ・ 宿泊者だけでなく、誰でも訪れやすい開かれたホテル
- ※なお、「奈良公園の玄関口に相応しい」についても、併せて意見を頂いた。
 - ・ 奈良の歴史、文化、伝統、景観等と共存するホテル
 - ・ 中長期にわたり、奈良公園と共に歩んでいける、趣があり続けるホテル
 - ・ 奈良公園の四季や朝の空気、歴史的雰囲気等五感で味わうことができるホテル

第3回検討委員会の結果（概要）

- 答申の方向性についてご了承いただいた。
- 次の内容について答申に追記
 - ・ 奈良が有する世界的に秀逸な価値（歴史、文化、伝統等）を継承し、中長期にわたり継続、発展できるホテルであること。
 - ・ 上質なホテルを可能にするには民間のノウハウが必要であることから、両会館を一体的に民間に売却し、民間の創意工夫を活かした民設民営の上質なホテルの設置が望ましいこと。